



2023年6月30日

各 位

会社名 クボテック株式会社
代表者名 取締役社長 久保 哲夫
(コード番号 7709 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理部長 記虎 政史
TEL (06)6443-1815

上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2023年3月31日時点において、スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合していません。当社は、下表のとおり、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (基準日時点)	3,285	41,066	8.8	29.7
上場維持基準	400	2,000	10.0	25.0
計画期間			2024年3月末	

(注) 当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

上場維持基準適合に向け流通株式時価総額の向上を基本方針といたします。

そのために当社は、新規事業・新製品の開発・販売など事業構造の改革を着実に進め、業績の改善と事業の安定を図ることが当面の急務であり、今後の成長の基盤となるものと考えております。収益の拡大と財務体質の改善を進め企業価値の持続的な向上に繋げてまいります。

(2) 課題及び取組内容

当社は、流通株式時価総額の項目がスタンダード市場の上場維持基準を満たしておりません。

当社グループは5期連続して営業損失を計上し、業績の低迷が株価下落の主たる要因と考えております。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、そのためこれまで事業構造の改革と拡大に取り組んでまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動の制限、客先の設備投資計画の見直しや部品需給の逼迫など事業への影響がありました。

また、株主構成において既存株主の非流通株式の保有割合が高いことも、その要因であると認識しております。

流通株式時価総額の向上を図るため以下の取組を実施してまいります。

①業績の改善

収益拡大の施策として、画像処理外観検査装置においては機能性フィルムや半導体関連の製品など、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また競争力のある液晶検査装置が中国向けに拡大の兆しがあり、積極的な営業展開で受注獲得を目指してまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めてまいります。

これら施策によって収益力向上と財務体質強化を図り、今後の成長と安定した経営基盤を築いてまいります。

②流通株式の増加

既存株主や市場環境への影響を勘案し株価に与える影響を最小限に留めながら、支配株主が保有する非流通株式の売却を促進し、流通株式の増加を図ってまいります。

③サステナビリティ経営への取組及びIR活動の強化

当社は、「技術は人のために」を企業理念とし、様々な社会課題に対して技術力を生かして克服することによって持続的な成長と企業価値向上を図る、サステナビリティを意識した経営を推進してまいります。

また、当社は適時適切な経営情報の開示に努めるとともに、年2回の決算説明会など株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図っておりますが、活動内容については積極的に情報を発信してまいります。

以上